

「社会を明るくする運動」京都市推進委員会啓発パレード

「社会を明るくする運動」京都市推進委員会は、京都市と京都市保護司会連絡協議会並びに京都市内 11 地区の保護司会及び更生保護女性会で構成しており、門川大作京都市長に推進委員長に就任していただいています。毎年、9月に啓発パレードを実施し、広く市民の皆様にご理解いただき、しっかりと手を携えて犯罪や非行のない社会の実現をめざして取組を進めてきました。安心で安全な地域社会づくりにためには、犯罪や非行から立ち直ろうとしている人々を地域社会の一員として受け入れ、自立した生活ができるように支援することで「誰一人取り残さない」社会の実現を目指していくことが大切です。

昨年は、更生保護制度が施行されて 70 周年、今年は「社会を明るくする運動」の開始から 70 回目を迎えました。これまで「社会を明るくする運動」京都市推進委員会では、毎年約 350 名が参加して、京都市総合教育センターにおいて式典を行い、内閣総理大臣メッセージの伝達と挨拶、大会宣言の後、京都市役所まで、パレードを行ってきました。

今年は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、残念ながらパレードは中止せざるを得なくなりました。そのため去る 8 月 4 日午前に京都保護観察所長と京都市保護司会連絡協議会の役員が京都市役所を訪問し、横地環京都保護観察所長から門川大作京都市長に内閣総理大臣からのメッセージを伝達いたしました。その後、更生保護についての意見交換を行いました。

来年は新型コロナウイルスが終息し、またこれまで通りのパレードが実施できることを願っています。

